

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスペリアホテル福岡	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前2丁	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	310 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 予定	評価の実施日	2016年7月14日
敷地面積	992 m <sup>2</sup>	作成者	原田 奈那子
建築面積	487 m <sup>2</sup>	確認日	2016年7月14日
延床面積	6,410 m <sup>2</sup>	確認者	吉永 拓郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 施設出入口と道路間の距離をとり、圧迫感を軽減するよう計画した。 周辺の建物や町並みとの調和を図った。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 告示対象の建材は全てF☆☆☆☆を使用。 客室は複層ガラスの採用や光を取り入れやすい空間とし、遮音の期待できる乾式間仕切りの採用など宿泊客へ心地よい空間を提供できる設計とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 客室の天井を高くすることで圧迫感を抑え、過ごしやすい環境となるよう考慮した。 グリーン購入法の便器の採用や中水の利用など非常時に備えられる計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 複層ガラスを採用し、遮熱性を高めた。 設備機器においては高効率設備、LED照明を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具の採用や、中水の利用など水資源の保護に努めた。 GL工法やLGS、乾式間仕切、またOA707など部材の再利用可能性を高めた。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に緑地を確保し、良好な景観の形成に取り組んだ。 食事スペースと緑地の間にテラスを設け、奥行きのある空間とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 再生資材の活用や高効率設備を設置し、地球温暖化へ配慮した。 また、外壁面にも保水性のあるタイルを使用し、温熱環境改善を図った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される